

## ①個別データシート

種類	製品	英名	calcium stearate
整理番号:	JP310389	分類	化学工業製品
		和名	ステアリン酸カルシウム

・GHG排出量 3.69E+00 kg-CO2e/kg

・情報源分類 モデルデータ

・技術記述子 ステアリン酸カルシウムの製造

・技術の内容と機能  
ステアリン酸、苛性ソーダ、塩化カルシウムを原料としたステアリン酸カルシウムの製造。  
ステアリン酸と苛性ソーダを反応させてステアリン酸ナトリウムを生成し、塩化カルシウム加えて複分解反応により、ステアリン酸カルシウムを製造する。  
(ステアリン酸、塩化カルシウム、苛性ソーダ)～化学反応  
主要原材料:ステアリン酸、塩化カルシウム、苛性ソーダ  
主要産出物:ステアリン酸カルシウム

・情報源

化学工業社,“増補プラスチックおよびゴム用添加剤実用便覧”,(1987),p163

・データ作成者コメント

化学工業社,“増補プラスチックおよびゴム用添加剤実用便覧”,(1987),P163 に掲載されている情報を基にモデル化して原単位を算出した。

・適用範囲

ステアリン酸と苛性ソーダを反応させてステアリン酸ナトリウムを生成し、塩化カルシウム加えて複分解反応による、ステアリン酸カルシウムの製造である。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む。産廃処理を含まない。

・配分

共製品として塩化ナトリウムが生成するが、工業的製造方法は別にあり、ここでは配分しない。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、脂肪酸(直分、硬分)(ステアリン酸)由来のCO2(化石資源由来)、脂肪酸(直分、硬分)(ステアリン酸)由来のN2O、塩化カルシウム,2水塩(塩化カルシウム)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	電力	電力,公共	JP120001	4.48E-01	kWh	
資源/原材料	中間フロー	入力	工業排水処理	工業排水処理	JP310027	5.25E-03	m3	
資源/原材料	中間フロー	入力	か性ソーダ	水酸化ナトリウム,液体97%換算・固形有姿		1.32E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	塩化カルシウム	塩化カルシウム,2水塩	JP310356	1.81E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	ステアリン酸	脂肪酸(直分、硬分)	JP310325	9.37E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	純水	純水,イオン交換膜法	JP310355	5.53E-03	m3	
製品	中間フロー	出力	ステアリン酸カルシウム	ステアリン酸カルシウム	JP310389	1.00E+00	kg	